

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室Lulu合志（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種連携による支援の提供	5領域に基づいた活動の立案と実施	振り返りの時間など、定期的なミーティングにて他職種からの見解を共有し、支援内容の統一化を図っている
2	セラピストによる専門的支援の提供	専門的な評価・見解の情報共有の徹底	個別介入での評価と集団での観察評価の見解を統合し、子どもさんの状況を総合的に捉えられるようにしている
3	保護者・相談員との連携	保護者のニーズを支援の中に取り入れていけるように努めている	担当者会議やモニタリングにおいて、児発管やセラピスト、保育士などからの様々な見解を共有し、支援の方向性（優先順位）を確立できるよう取り組んでいる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもさんの特性を把握・理解し、対応する手段や方法をスタッフ間で共有しているが、実際の活動場面にて支援のポイントが洗練されていない	子どもさんの特性等、現場の状況に即した研修会を積極的に行う必要がある	研修会の定期開催など仕組みを整えていく
2	保護者の交流会やイベントの実施が不十分	通所事業運営がメインとなっている為、イベント開催を企画運営する人員が不足している	人員の確保に努めたい イベント開催にあたっての情報収集を行っていく
3	地域との交流が不十分	地域交流に向けた仕組みなど、知識・経験が不十分	基幹相談支援センターや他事業所との連携を図り、地域交流に向けた情報収集を行っていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども療育研究室Lulu合志 (児童発達支援)				公表日	2025年 3月 10日		利用児童数	38	回収数	16
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	1	3	特記なし。	引き続き、事業所内の整理整頓に努めていきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	5	特記なし。	運営における安全管理上必要な人員の確保に努めていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	4	特記なし。	子どもたちが過ごしやすい環境になるように継続して整備を行っていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	0	3	特記なし。	整理整頓や環境整備を継続して行っています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし。	職員全体で子どもたちの特性について学びを深め、サポートできる体制を作っていきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし。	支援プログラムを適宜見直し、アップデートしていきます。			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	1	特記なし。	ニーズに応じた支援計画の立案に努めていきます。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし。	課題点を保護者と共有し、より具体的にわかりやすい支援内容を設定し取り組んでいきます。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	2	特記なし。	日々研鑽を重ねていきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	1	特記なし。	子ども達の特性に応じて、適宜活動プログラムの立案・変更を行います。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	4	特記なし。	地域との交流の場を設けられるように、他機関と連携を図っていきます。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	特記なし。	わかりやすく丁寧な説明となるよう、対応するスタッフの研修会などを行っていきます。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	1	0	特記なし。	支援内容の説明の方法など、統一化を図っていきます。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	3	4	特記なし。	今後、家族支援プログラムなどの機会が設けられるように検討していきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	1	0	0	特記なし。	情報共有の方法について、工夫を図りながらスムーズなやり取りが出来るように検討していきます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	1	2	特記なし。	今後、定期面談の機会や子育て支援が行えるように検討していきます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし。	職員間での意識の統一を図り、共感的支援が行えるように努めていきます。			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	4	4	特記なし。	今後、保護者の交流会や、きょうだいに向けたイベント開催を検討していきます。				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	1	1	特記なし。	相談窓口の体制について、わかりやすく周知していきます。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし。	情報共有の方法について、工夫を図りながらスムーズなやり取りが出来るように検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	3	特記なし。	ホームページやSNSツールを使った発信の工夫を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1	特記なし。	職員研修を重ね、引き続き個人情報の取り扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3	特記なし。	保護者に分かりやすく周知・説明出来るように努めます。定期的な避難訓練は継続して行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	2	特記なし。	今後も、定期的な避難訓練を継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	特記なし。	保護者に分かりやすく周知・説明出来るように努めます。定期的な避難訓練は継続して行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	3	特記なし。	緊急時の対応については、定期的に見直しを行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	特記なし。	子どもたちの気持ちに寄り添いながら、楽しく通って頂けるようにサポートしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0	特記なし。	引き続き、専門的支援に加え、楽しみの提供も大切にしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	1	0	特記なし。	引き続き、事業所全体の質の向上を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども療育研究室Lulu合志 (児童発達支援)		公表日		2025年 3月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	ご利用されている子ども達の人数をグループ化し、部屋を分けて対応。	物理的構造化への改善工夫
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	状況に応じたスタッフ配置	人員の確保
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	視覚支援を使用した工夫	環境面の配慮は引き続き検討
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	午前・午後それぞれのサービス提供終了後の清掃	環境の整理整頓は継続
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	子どもさんの状況に応じて、部屋や場所の利用の工夫をしている	特記なし。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	現状の把握や検討・決定にはスタッフ全体で考えるようにしている	特記なし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	保護者向け評価表の結果提示	スタッフ全体に向けた好評の場を設け、改善点について共有する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	面談の実施	定期的な面談に至っていないので、年間スケジュールとして組み込んでいきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	第三者評価未実施	特記なし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	新入職員に対しては、研修プログラムを実施。	定期的な研修に至っていないので、年間スケジュールとして組み込んでいきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	支援プログラムは事前に立案し、目的に応じて実施できている	公表には至っていないので、今後検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2	SNSなどを活用し、ニーズを把握できるように工夫している。	よりニーズが把握できるように、信頼関係を築いていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	ご利用児童の支援内容については、定期的に全職員で共有するようにしている。	特記なし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	全職員での共有を行っている。	特記なし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	アセスメントシートを用いた情報収集	職員一人一人がアセスメントシートからの情報収集に努めるように促す
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	5領域に分類し、具体的な支援計画を設定している。	特記なし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	年間の立案計画をチームで実施	立案に向けたミーティングの時間の捻出
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	目的に応じて毎週立案。	目的の具体化と明確化。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別的介入と集団での介入、双方を大事にしている。	特記なし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	現在実施している。	ご利用児童の人数や特性に応じて、現場の流れの工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	実施している。	特記なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	振り返りでの記録を徹底している。	子ども達の特性への支援のポイントに対して、優先順位をもつ事が課題。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2	定期的な見直しを行っている。	定期的なスタッフ周知を徹底する。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	設問の通りである。	セラピストがより専門的な見解を共有できる場を設定していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	関係機関との連携を整えている	職員全体で地域と連携できるように、組織体制を整えたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	担当者会議等での情報共有を行っている。	定期的な情報共有の体制を整えていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	必要に応じて移行支援に向けた情報提供を行っている	支援シートの工夫や、記載内容の表現方法などの工夫
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	4		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	今後体制を整えていきたい。	今後体制を整えていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域の子どもたちとの交流できるイベントの検討	地域の子どもたちとの交流できるイベントの検討
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	担当者会議やモニタリング等の機会を利用し、情報の共有を図るようにしている。	定期的な情報共有の体制を検討。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	現在は取り組めていない。	今後、検討していく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	説明は丁寧に行っている。	特記なし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	担会・契約時に詳細な情報を収集している。	特記なし。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	2	設問の通りである。	特記なし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	設問の通りである。SNSを通じても対応している。	特記なし。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	現在取り組めていない。	今後、検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	設問の通りである。	児発管やセラピストなど連携を図り、対応・説明している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	HPやSNSを活用している。	保護者や相談支援事業所向けの広報誌の発行も検討。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	設問の通りである。	特記なし。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	設問の通りである。	対応方法をスタッフで周知・統一する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	現在取り組めていない。	今後、検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	設問の通りである。	各種マニュアルに応じて、訓練を充実する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	年に2～3回の自然災害避難訓練を行っている。	より具体的な災害を想定しての訓練実施を行ってきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	担会・契約時やサポートブックによる情報収集を行っている。	特記なし。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	保護者との情報共有を密に行っている。	スタッフ間での情報共有の工夫
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	定期的な研修会の実施	安全計画の更新や見直し
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	事前説明実施	情報共有の工夫
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	3	設問の通りである。	特記なし。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	法人全体での研修会実施	特記なし。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3	保護者には事前説明し、同意を得ている	子どもの特性や状況について、情報共有の工夫	